

たなばた あまのがは
七夕に天漢を仰ぎ観て、
おのもおのもおもひ
各所思を陳べて作
る歌三首

三六五六番

あきはぎ
秋萩に にほへる我が裳
ぬれぬとも
君がみ舟
の 綱し取りてば

三六五七番

とし
年にありて 一夜妹に逢ふ
彦星も
我にまさり
て 思ふらめやも

三六五八番

ゆふづくよ
夕月夜 影立ち寄り合ひ
あま
天の川
こ
漕ぐ舟人を
見るがともしさ